

2012 年度（平成 24 年度）
第 1 回 応用地形判読士資格検定試験

受験から登録までの手引き

一次試験

試 験 日：2012 年 7 月 14 日（土）
受験願書受付け：2012 年 4 月 10 日～5 月 14 日
合格発表（予定）：2012 年 8 月 25 日
登 録 期 間：2012 年 8 月 26 日～2016 年 10 月中旬

二次試験

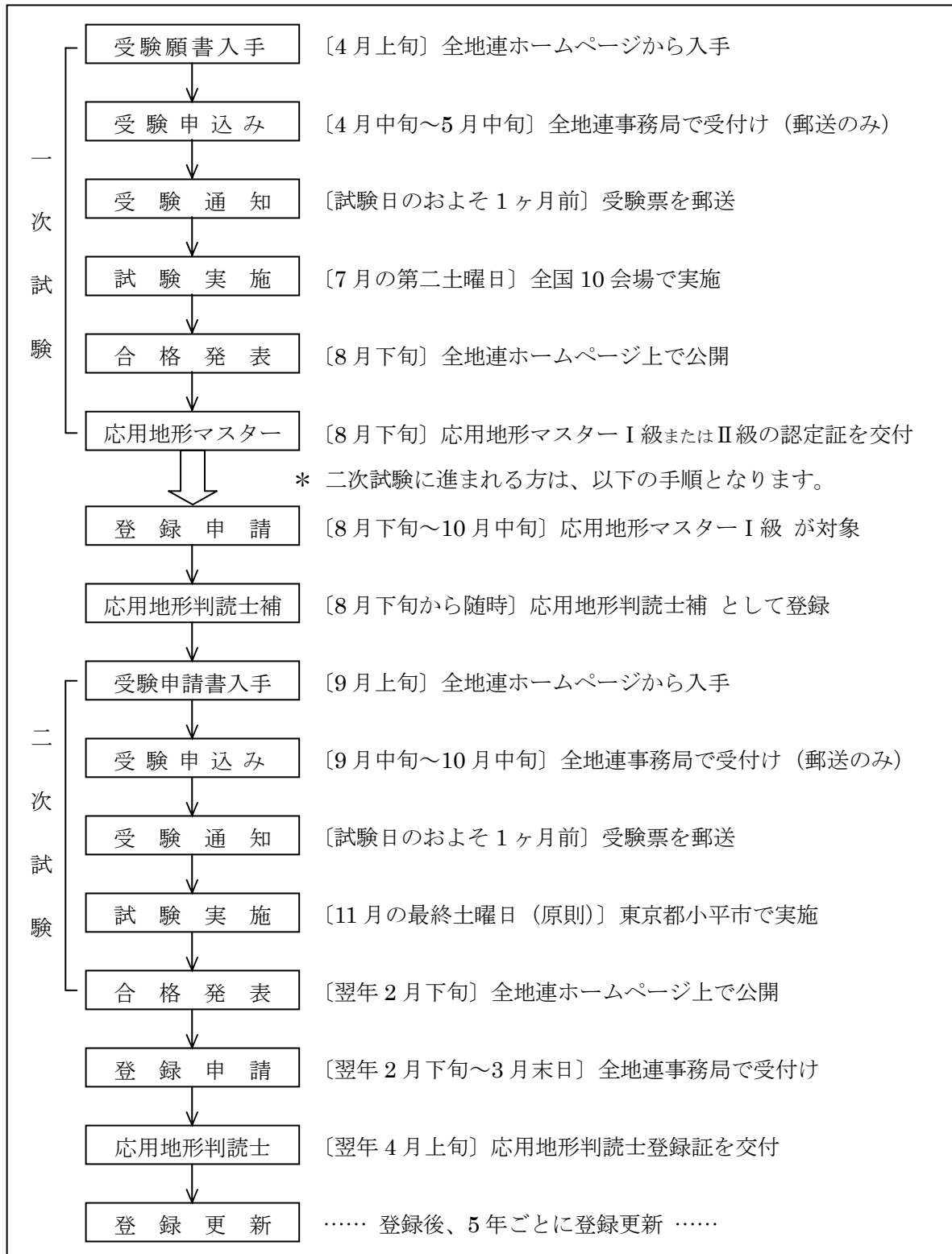
試 験 日：2012 年 12 月 1 日（土）
受験申請書受付け：2012 年 9 月 10 日～10 月 15 日
合格発表（予定）：2013 年 2 月 25 日
登 録 期 間：2013 年 2 月 26 日～3 月 31 日

2012 年 4 月



一般社団法人 全国地質調査業協会連合会

「応用地形判読士」の資格取得まで



目 次

I. 制度の概要	1
1. 制度の主旨	1
2. 試験制度	2
II. 一次試験	3
1. 概要	3
2. 受験資格	3
3. 試験の方法	3
4. 受験の手続き	4
5. 受験票の送付	7
6. 受験	8
7. 受験後	10
III. 登録（応用地形判読士補）	11
1. 概要	11
2. 登録有効期間	11
3. 登録の手続き	11
4. 登録	14
IV. 二次試験	15
1. 概要	15
2. 受験資格及び試験の免除	15
3. 試験の方法	15
4. 受験の手続き	16
5. 受験票の送付	19
6. 受験	20
7. 受験後	22
V. 登録（応用地形判読士）	23
1. 概要	23
2. 資格	23
3. 登録の手続き	23
4. 登録	25
VI. 登録更新【対象登録年月日：2013年4月1日】	26
1. 概要	26
2. 登録更新の要件	26
3. 登録更新の手続き	28
4. 登録更新	31
VII. その他	32
1. 個人情報の保護	32
2. 不可抗力による試験の中止	32
3. e-learning について	32
4. 参考図書	32
5. CPD の自己管理	33

I. 制度の概要

1. 制度の主旨

地形は、誰でも見るすることができます。地形を見る眼を養うことで、あらかじめ安全性の高い場所を選択することや、災害時に身を守ることができるようになります。また、地形図を読み慣れた山の愛好家は、登山中の自分の位置を特定することや、地形図を眺めながら山容をイメージして登山している気分を楽しむことができます。

一方、地形図や空中写真を用いる地形判読技術では、特定の成因によって形成された地形の種類を認定する正確さと精度が必要となります。また、社会資本を整備する上からは、地形の構成素材である地質を想定し、地形の種類と周辺地形との相対位置とを勘案して、地形リスクを適切に判断できることが重要です。つまり、地形判読に携わる技術者に求められる能力は、判読技術に留まらず、地質を含む広範な知識と経験、並びに洞察力が不可欠です。

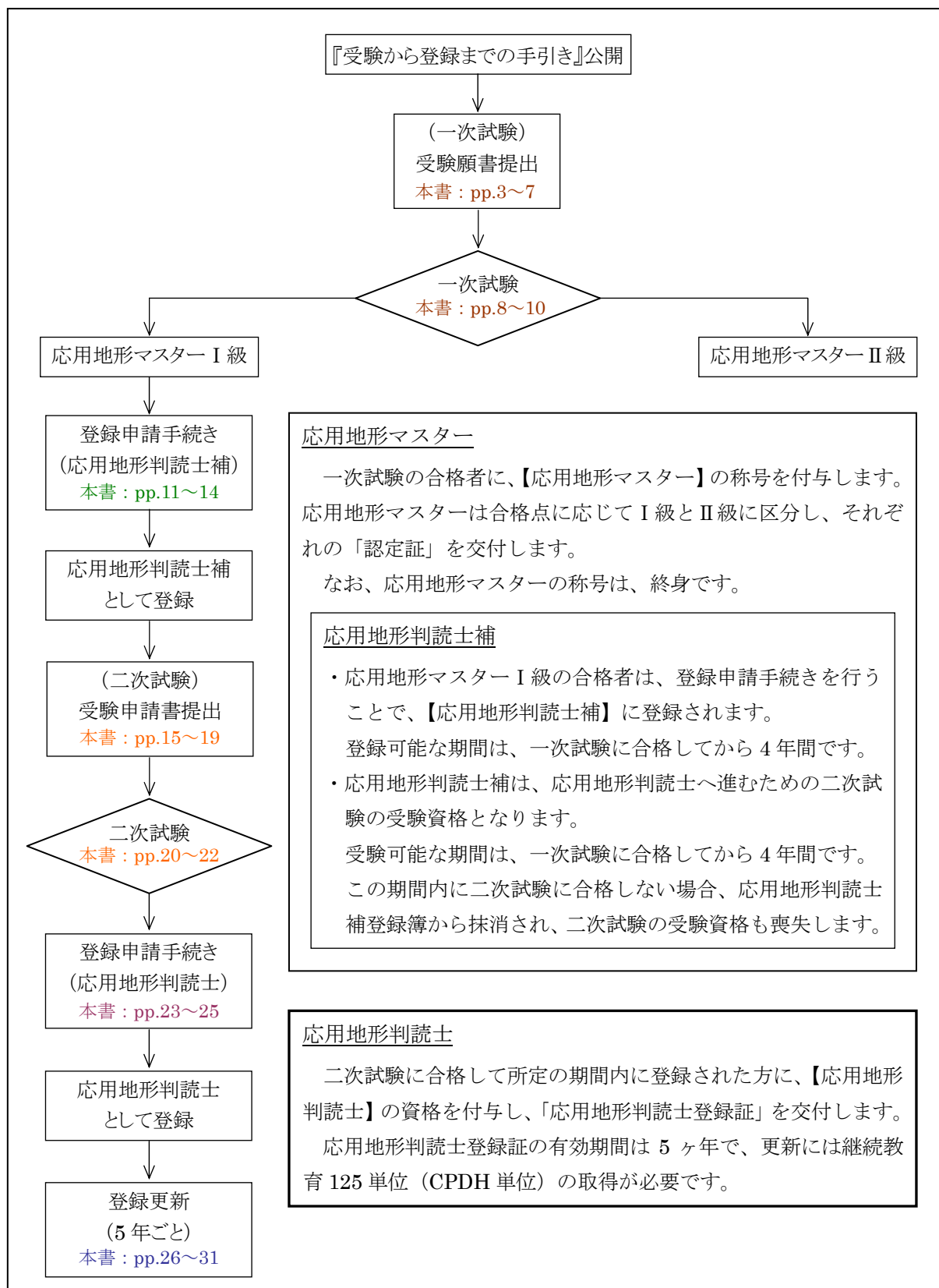
“地形と地質の判る技術者”により判読された地形情報の活用は、脆弱な地質状況という特殊事情を抱える日本の建設事業の安全・安心に繋がるものであります。

こうした観点から、本資格制度を創設いたしました。

＜創設目的＞

- ★ 地形と地形判読に関する知識を身につけ、“防災・減災”に役立てる人材を広く育成する。
- ★ 優れた判読技術を有し、地形リスクを判断できる応用能力を修得した技術者を認定する。
- ★ 応用地形判読士を利活用することの有用性を広め、当該技術の普及と関連技術者の育成を図る。

2. 試験制度



Ⅱ．一次試験

1. 概要

一次試験は、地形判読に関する基礎知識及び専門知識を問う、学科試験です。

2. 受験資格

受験資格の制限はありません。どなたでも受験していただけます。

3. 試験の方法

次の科目について、筆記試験により行います。

科 目	出題方式	問題数
社会一般	多肢択一式	計 50 問
地形及び地質に関する基礎知識	多肢択一式	
判読の基礎知識	多肢択一式	
平地の判読に関する専門知識	多肢択一式	計 20 問
山地の判読に関する専門知識	多肢択一式	
判読に関する専門知識 〔A群・B群の2種類(山地、平地など) の設問(各々2問)から1問を選択〕	記述式*	計 2 問

注) 記述式問題：簡潔な記述式(小論文)。

4. 受験の手続き

1) 必要書類の入手

受験に必要な書類は、全地連のホームページからダウンロードしてください。無料です。

全地連ホームページ <http://www.zenchiren.or.jp/>

2) 書類の作成

申請時に提出する書類は、＜受験願書／写真票（様式-1）＞のみです。

受験願書は、以下の要領にしたがって作成してください。

- ① 記入はすべて黒インクのボールペンを使って、丁寧な字ではっきりと記入してください。
- ② 申請日、生年月日その他は、西暦で記入してください。
- ③ 一次試験受験地欄には、6. 2) 受験地（8 ページ）から希望する一つを選択して、ご記入ください。なお、申込み後は、受験地の変更は原則としてできません。
- ④ 氏名には、略称や雅号などを用いないでください。
- ⑤ 年齢は、申請日で記入してください。
- ⑥ 現住所欄は、居住地の住所等を記入してください。本人確認のため、受験票及び可否通知は、現住所に記載されている住所宛に郵送します。
- ⑦ 所属機関には、研究機関や学校などを含みます。勤務先（自営の場合は自営として）及び所属部課名、またはこれに相当する事項を記入してください。また、申請時点で無職の方は、「なし」と記入してください。
- ⑧ 最終学歴欄には、学校名、学科名等及び卒業年月を記入してください。
学校教育法による学校以外の、専修学校や各種学校でも構いません。
- ⑨ 保有資格欄には、地形判読に関連した資格名とその登録番号及び取得年月を記入してください。該当する資格をお持ちでない方は、「なし」と記入してください。
例：技術士（応用理学）（建設）、測量士、GIS 上級技術者、空間情報総括監理技術者、
森林情報士、地図地理力博士 ほか
- ⑩ 判読経験欄には、今までに行った判読の時期、概要及びそのとき所属していた機関の名称を記入してください。経験のない方は、「なし」と記入してください。
- ⑪ 受験料振込欄は、記入しないでください。また、この時点では、受験手数料を振込しないでください。

- ◎ 受験手数料の取扱いについて：試験会場の定員との関係から、受験申込みをお受けできない場合があります。受験いただける方へは、別途「振込み依頼票」をお送りいたします。

写真票は、以下の要領にしたがって作成してください。

- ① 申請日前3ヶ月以内に撮影した、本人であることが明瞭に確認できる写真（無帽、正面、上三分身）を使用してください。
- ② 眼鏡使用の方は、着用時の写真。
- ③ 大きさは縦5cm×横4cm程度として、カラー、白黒は問いません。
- ④ 裏面に氏名を記入し、所定の位置に、剥がれないように貼付けてください。
- ⑤ 写真の下欄に、撮影月日を記入してください。
- ⑥ 一次試験受験地欄及び氏名欄は、受験願書と同じ記載をしてください。

《注意事項》

※試験会場の収容人数が限られています。そのため、受験申込みをお受けできない場合があることを、あらかじめご承知おきください。お早めに受験願書等を作成して、お申込みください。

- ・記載内容に誤りや虚偽があった場合、受験することができなかつたり不合格となつたりすることがあります。「自己チェック欄」を活用して、間違えのないことを確認してください。
- ・願書には表面と裏面とがあります。
- ・願書に関する③～⑥は必須項目です。必ず記入してください。

写真票の⑤と⑥も同じです。

- ・身体の不自由な方等で受験に際して特別な措置を希望される場合、申込み時に文書で申請してください（文書の様式は問いません）。

作成した＜受験願書／写真票＞は、後の確認用として、複写し保管することをお勧めします。

〔様式1〕									
年 応用地形判読士資格検定試験 受験願書									
一次試験受験地				受験番号					
私は、応用地形判読士資格検定試験を受験したく、応用地形判読士資格検定試験規程第5条に基づき、写真票を添えて申請いたします。									
年 月 日 氏名 印									
一般社団法人 全国地質調査業協会連合会 会長 殿									
フリガナ				性別	生年月日(西暦)		年齢		申請日
氏 名				男 女	年 月 日		歳		日
現 住 所	〒								
所 属 機 関	名称: 住所: 〒								
所属する会社、研究機関等	電話番号: ファックス番号:								
最終学歴	学 校 名	学 部 ・ 学 科 名	卒業年月(西暦)						
			年 月						
(注) ・「受験の手引き」をよく確認して、記入してください。 ・空欄は、記入しないでください。 ・申請日や生年月日などは、すべて西暦で記入してください。									

写 真 票

確 認 欄			
一次試験		二次試験	
午前	午後	午前	午後
受験番号			
一次試験受験地			
フリガナ			
氏 名			

写真貼付

(注) ・申請前3ヶ月以内に撮影した、無帽、正面、上三分身の写真を使用してください。
 ・サイズ: 縦5cm×横4cm程度
 ・カラー、白黒は問いません。
 ・眼鏡使用の方は、着用時の写真。
 ・裏面に氏名を記入して、貼り付けてください。

資格名	登録番号	取得年月(西暦)
保有資格		年 月
		年 月
		年 月
期間	判読の概要	所属機関
判読経験		
振込手続日 年 月 日 受験料振込(一次試験) 振込依頼人名 (受験者名と異なる場合に、記入してください) 振込名分をまとめて振込申込協会、該当する受験者名と人数を次に記入してください。 (受験者名: 名)		
上記のとおり、相違ありません。 年 月 日 申請者氏名 印		

受験願書／写真票 (表)

受験願書 (裏)

3) 受験の申込み

＜受験願書／写真票＞を作成し、全地連事務局宛に郵送してください。

〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-5-13 内神田 TK ビル 3 階
一般社団法人全国地質調査業協会連合会 事務局 応用地形判読士係
Tel. (03) 3518-8873 Fax. (03) 3518-8876

受付期間：2012 年 4 月 10 日 ～ 同年 5 月 14 日

ただし、試験会場ごとの定員になり次第、受付けを終了させていただきます。

《注意事項》

- ・申込み後は、提出書類の返却はいたしません。
- ・受付けは郵送のみとします。ファックス、電子メールまたは持参による申込みはできません。
- ・受付け期間中の消印が有効です。期限を過ぎた消印の書類は、受理できません。また、受付け期間内であっても、試験会場の定員に達した以降は、受験申込みをお受けできません。

4) 受験手数料の振込み

先着順に、受験願書等を確認します。

受付け期間中の消印（ただし、試験会場の定員に達した時点を優先します。）でかつ、受験願書等の記載が適正であった方へ、「振込み依頼票」をファックスいたします。

振込み依頼票の記載にしたがい、ファックス到着後一週間以内に受験手数料(12,600 円・税込)をお振込みください。

その際、依頼人名は受験者氏名で記入してください。

受験手数料のお振込みを確認できた方へは、6 月中旬に「受験票」を郵送いたします。

《注意事項》

- ・振込み後の受験手数料の返還はいたしません。
- ・振込みに要する送金手数料については、受験者でご負担ください。
- ・受験手数料は、現金書留、定額小為替、普通為替等では納入できません。
- ・インターネットバンクを利用し納入される方は、取引画面のプリントに受験者氏名を明記のうえ、全地連事務局宛にファックスしてください。
- ・全地連は、受験手数料振込みの領収書は発行いたしません。
- ・振込み以降に氏名や連絡先が変更になったときは、全地連事務局へ必ずご連絡ください。

5. 受験票の送付

1) 送付の時期

6月中旬（試験日のおよそ1ヶ月前）とします。

《注意事項》

- ・6月下旬になっても受験票が届かないときは、全地連事務局にお問い合わせください。

2) 送付の方法

受験票は、葉書でお送りします。

受験票に記載してある受験地と氏名をご確認ください。

《注意事項》

- ・記載に間違いがあるときは、全地連事務局にお申付けください。ただちに受験者データを修正して、再発行いたします。
- ・受験票は、試験当日必ず持参してください。
- ・受験票は、試験後に合否通知が送付されるまで、大切に保管してください。
- ・受験番号は、応用地形判読士として登録するときまで使います。＜受験願書／写真票＞の複写に転記するなどして、忘れないようにしてください。

6. 受験

1) 試験日時

試験日時：2012年7月14日（土） 9時30分～15時30分

午前の部：9時30分～12時30分 多肢択一式問題（全70問）

午後の部：13時30分～15時30分 記述式問題（全2問）

2) 受験地

受験地	施設名	所在地	交通
札幌	札幌総合卸センター共同会館	札幌市東区北6条東3丁目1 TEL (011) 721-1101	JR札幌駅徒歩10分
仙台	宮城県建設産業会館	仙台市青葉区支倉町 2-48 TEL (022) 225-8851	地下鉄勾当台駅 徒歩10分
新潟	新潟テルサ	新潟市中央区鐘木 185-18 TEL (025) 281-1888	産業センター前 バス停すぐ
東京	TFTビル 東館9階	江東区有明 3-6-11 TEL (03) 5530-5001	ゆりかもめ国際展示 場正門駅徒歩1分
名古屋	愛知県青年会館	名古屋市中区栄 1-18-8 TEL (052) 221-6001	地下鉄伏見駅 徒歩7分
大阪	天満研修センター	大阪市北区錦町 2-21 TEL (06) 6354-1927	JR天満駅徒歩2分
広島	RCC文化センター	広島市中区橋本町 5-11 TEL (082) 222-2277	JR広島駅徒歩10分
高松	サン・イレブン高松	高松市松福町 2-15-24 TEL (087) 823-4550	琴電松島二丁目駅 徒歩1分
福岡	福岡県中小企業振興センター	福岡市博多区吉塚本町 9-15 TEL (092) 622-0011	JR吉塚駅徒歩1分
沖縄	浦添市 産業振興センター・結の街	浦添市勢理客 4-13-1 TEL (098) 870-1123	勢理客バス停 徒歩5分

《注意事項》

- ・あらかじめ、所在地などにより試験会場の詳しい場所をご確認ください。
- ・施設への直接のお問い合わせは、お控えください。
- ・公共交通機関によるアクセスをご検討ください。

3) 受験にあたって

- ・試験会場では、“地質調査技士資格検定試験”を同時に実施しています。間違えのないよう十分にご注意ください。
- ・試験会場へは、試験開始の15分前までに到着し、受付けを済ませてください。
遅刻された方には、受験をお断りする場合があります。受験していただく場合でも、終了時刻の延長はありません。
- ・席は受験番号で指定してあります。指定された席で受験してください。
- ・受験票は必ず持参し、会場担当者の指示にしたがって提示してください。また、試験中は、机の見えやすい位置に置いてください。
- ・次の文房具等をご用意いただき、試験会場へご持参ください。

鉛筆またはシャープペンシル（黒色でHB程度の硬さ）／プラスチック製消しゴム／ 定規／三角スケール／色鉛筆／計算機（プログラム機能の付いていないもの）。
--

試験に使用できる文房具等については、試験開始前に、試験監督が指定いたします。

- ・文房具等の貸し出しはいたしません。
- ・携帯電話やアラーム音が出る機器は、入室前に必ず設定を解除し電源を切ってください。
- ・試験会場では、係員や試験監督の指示にしたがってください。
- ・不正行為（試験の進行を妨害する行為、他の受験者の迷惑となる行為、試験の公平性を損なう行為等）または試験監督の指示にしたがわないときは、即刻退場を命じます。
この場合、すべての科目について採点から除外し、不合格とします。
- ・問題の内容に関する質問には応じません。問題用紙や解答用紙にページの欠落や不鮮明な点があった場合は、手を挙げて試験監督に申し出てください。
- ・多肢択一式問題の解答用紙（マークシート）の解答を修正するときは、記入跡が残らないよう、プラスチック製消しゴムを用いてていねいに消してください。
- ・問題用紙は、試験終了後または途中退出の際に、各自お持ち帰りください。
- ・昼食や飲み物は、各自で調達してください。また、会場管理者からの指定があるときは、それにしてください。
- ・電力事情により、空調や照明の使用が制限される可能性があります。温度調節のしやすい服装でご来場ください。

7. 受験後

1) 正答発表

正答発表：2012年7月16日～3年間程度の期間、全地連ホームページに掲載します。

発表の対象は、試験問題及び多肢択一式問題の正解とします。

2) 合格発表と合格基準

合格発表日：2012年8月25日（予定）

合格通知：受験者全員に「合否通知」を郵送します。《発表日の2日後前後に到着》

合格者名簿（受験番号）を、全地連ホームページに掲載します。《発表当日の朝》

合格者名簿（受験番号）は、9月発行の全地連機関誌『地質と調査』に掲載します。

合格基準：応用地形マスターⅠ級／出題科目ごとに40%以上正答し かつ、

全科目の総得点が満点の70%以上、

応用地形マスターⅡ級／出題科目ごとに40%以上正答し かつ、

全科目の総得点が満点の50%以上70%未満、

その他：合格者には、「認定証（応用地形マスターⅠ級またはⅡ級）」を郵送します。

応用地形マスターⅠ級合格者には、＜応用地形判読士補登録申請書（様式-3）＞及び

＜応用地形判読士資格検定試験（二次試験）受験申請書（様式-2）＞を同封します。

《注意事項》

- ・9月中旬になっても合否通知が届かないときは、全地連事務局にお問い合わせください。

3) 登録

応用地形マスターⅠ級の合格者は、合格してから4年間、登録申請手続きを行うことで、応用地形判読士補に登録されます。

登録は任意ですが、応用地形判読士補に登録することで、二次試験の受験資格が得られます。

ただし、応用地形判読士補に登録しても、登録証は発行いたしません。

詳細は、Ⅲ. 登録〔応用地形判読士補〕（11～14ページ）をご覧ください。

4) その他

応用地形判読士補への登録を希望されない応用地形マスターⅠ級、あるいは応用地形マスターⅡ級に認定された方は、登録の必要はありません。

ただし、一次試験に合格した記録は、全地連事務局が管理します。受験願書に記載した現住所や氏名を変更された際は、全地連事務局までご連絡ください。変更手数料は不要です。

Ⅲ. 登録（応用地形判読士補）

1. 概要

応用地形マスターⅠ級合格者が応用地形判読士補となるには、所定の期間内に登録の申請をして、登録を受ける必要があります。

応用地形判読士補の登録を受けることで、二次試験の受験資格が得られます。

2. 登録有効期間

応用地形マスターⅠ級合格者は、2016年10月中旬まで、応用地形判読士補に登録することができます。ただし、この期限を超過したときは、応用地形判読士補となる権利を失います。

年 度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
一次試験	○ 合格	○ 免除	○ 免除	○ 免除	○ 免除
登録期間					 二次試験 願書締切
二次試験	◎	◎	◎	◎	◎

3. 登録の手続き

1) 必要書類の入手

登録に必要な書類は、応用地形マスターⅠ級の認定証とともにお送りします。

お手元がない場合は、全地連のホームページからダウンロードしてください。無料です。

2) 書類の作成

申請時に提出する書類は、＜応用地形判読士補登録申請書（様式-3）＞のみです。

申請書は、以下の要領にしたがって作成してください。

- ① 記入はすべて黒インクのボールペンを使って、丁寧な字ではっきりと記入してください。
- ② 申請日、生年月日その他は、西暦で記入してください。
- ③ 氏名には、略称や雅号などを用いないでください。
- ④ 年齢は、申請日で記入してください。
- ⑤ 現住所欄は、居住地の住所等を記入してください。
- ⑥ 所属機関には、研究機関や学校などを含みます。勤務先（自営の場合は自営として）及び所属部課名、またはこれに相当する事項を記入してください。また、申請時点で無職の方は、「なし」と記入してください。
- ⑦ 一次試験合格の記録欄には、一次試験の合格年、一次試験の受験地及び受験番号を記入してください。
- ⑧ 登録料振込欄は、登録料を振込んだ月日を記入してください。

振込み手続き方法は、3. 4) 登録手数料の振込み（13 ページ）にある要領にしたがい実施して、必要なときは振込依頼人名等を記入してください。

Ⅲ. 登録（応用地形判読士補）

3) 登録の申込み

＜応用地形判読士補登録申請書＞を作成し、全地連事務局宛に郵送してください。

受付け期間：2012年8月26日（予定）～2016年10月中旬* 【2012年度合格者】

（上記の‘10月中旬*’は、二次試験受験申請書の受付け期限を意味します。）

上記の期間、随時受付けをしています。

二次試験の受験申請受付け期間中（2012年9月10日～同年10月15日）は、この登録申請書と（二次試験）受験申請書を同時に提出することができます。

《注意事項》

- ・申請後は、提出書類の返却はいたしません。
- ・受付けは郵送のみとします。ファックス、電子メールまたは持参による申請はできません。
- ・受付け期間中の消印が有効です。期限を過ぎた消印の書類は、受理できません。

〔様式-3〕

応用地形判読士補 登録申請書

私は、応用地形判読士資格検定試験（一次試験）に合格し、応用地形マスターⅠ級の認定を受けました。
ここに、応用地形判読士資格検定試験（二次試験）を受験する意志を表明し、応用地形判読士補の登録を申請いたします。

____年 ____月 ____日

氏名 _____ 印 _____

一般社団法人 全国地質調査業協会連合会 会長 殿

フリガナ		性別	生年月日(西暦)	年齢
氏 名		男 女	年 月 日	申請日で 歳
現 住 所	〒 _____			
電話番号:	メールアドレス:			
所属機関名	_____			
一次試験 合格の記録	一次試験合格年(西暦) 年	一次試験の受験地	一次試験の受験番号	
登録料振込	振込手続日: ____年 ____月 ____日			
	振込依頼人名: _____ (申請者名と異なる場合に、記入してください。)			
	振込名分をまとめて振込んだ場合、該当する申請者名と人数を次に記入してください。			
	申請者名: _____ (名)			

注) 所属機関には、会社のほか、学校や研究機関等を含みます。

【全地連使用欄】(ここから下は、使用しないでください。)

1	2	3	4	5	6	7	8

応用地形判読士補 登録申請書

4) 登録手数料の振込み

登録手数料は 8,400 円（税込）です。

受付け期間内に、次の口座にお振込みください。

三菱東京UFJ銀行	本郷支店
普通預金	口座番号 1017677
(社) 全国地質調査業協会連合会	

登録手数料は、以下の要領にしたがってお振込みください。

- ① 振込み手続きの際、振込依頼人名は登録者氏名で記入してください（原則）。
- ② 振込依頼人名が登録者氏名と異なる場合は、登録申請書の登録料振込欄に振込依頼人名をご記入ください。
- ③ 複数名の登録料をまとめて振込まれる場合は、振込み手続きの依頼人名は代表者 1 名の氏名で手続きを行い、登録申請書の登録料振込欄に登録者全員の氏名と人数を記入してください。

なお、振込用紙の依頼人欄には、次を参考に、受験番号とお名前を記入してください。

依頼人欄の記入例：

受験番号 9876543 の場合 → 9876543 全地連太郎（9876543 ゼンチレンタロウ）

《注意事項》

- ・申請後の登録手数料の返還はいたしません。
- ・振込みに要する送金手数料については、登録者でご負担ください。
- ・登録手数料は、現金書留、定額小為替、普通為替等では納入できません。
- ・インターネットバンクを利用し納入される方は、取引画面のプリントを登録申請書に同封してください。
- ・全地連は、登録手数料振込みの領収書は発行いたしません。

4. 登録

1) 登録

申請に基づき、全地連事務局が《応用地形判読士補登録簿》に登録します。

応用地形判読士補登録簿は、2) に示す期間管理します。

ただし、応用地形判読士補に登録しても、登録証は発行いたしません。また、更新の必要もありません。

2) 登録の期間

応用地形判読士補として認められるのは、次の期間です。

開始日：応用地形判読士補登録申請書を受理した日。

終了日：2017 年 3 月 31 日、または それ以前に応用地形判読士として登録したとき。

3) 登録事項の変更

登録後に現住所、氏名、所属機関が変更になった時には、「変更届」が必要です。全地連事務局へ、必ずご連絡ください。変更手数料は不要です。

Ⅳ. 二次試験

1. 概要

二次試験は、応用地形判読士として必要な技術能力を問う、実技試験です。

2. 受験資格及び試験の免除

受験資格を有する方は、応用地形判読士補です。

2016 年度の二次試験まで、一次試験免除のもとに受験していただけます。

3. 試験の方法

次の科目について、筆記試験により行います。

科 目			出題方式	問題数
平地	地形図	判読図の作成	記述式	各 1 問
		地形発達史の推論	記述式	
	空中写真	判読図の作成	記述式	各 1 問
		地形発達史の推論	記述式	
山地	地形図	判読図の作成	記述式	各 1 問
		地形発達史の推論	記述式	
	空中写真	判読図の作成	記述式	各 1 問
		地形発達史の推論	記述式	

選択式ではありません。設問のすべてに解答していただきます。

空中写真の判読には、実体鏡をご使用いただけます。

4. 受験の手続き

1) 必要書類の入手

受験に必要な書類は、応用地形マスター I 級の認定証とともにお送りします。

お手元にない場合は、全地連のホームページからダウンロードしてください。無料です。

2) 書類の作成

申請時に提出する書類は、＜受験申請書／写真票（様式・2）＞のみです。

受験申請書は、以下の要領にしたがって作成してください。

- ① 記入はすべて黒インクのボールペンを使って、丁寧な字ではっきりと記入してください。
- ② 申請日、生年月日その他は、西暦で記入してください。
- ③ 氏名には、略称や雅号などを用いないでください。
- ④ 年齢は、申請日で記入してください。
- ⑤ 現住所欄は、居住地の住所等を記入してください。本人確認のため、受験票及び可否通知は、現住所に記載されている住所宛に郵送します。
- ⑥ 一次試験合格の記録欄には、一次試験の合格年、一次試験の受験地及び受験番号を記入してください。
- ⑦ 受験料振込欄は、受験料を振込んだ月日を記入してください。
振込み手続き方法は、Ⅲ. 3. 4) 登録手数料の振込み（13 ページ）にある要領にしたがい実施して、必要なときは振込依頼人名等を記入してください。
- ⑧ 一次試験受験願書の記載と現在の所属機関が異なるときは、新しい所属機関名を、裏面の該当する箇所に記入してください。
- ⑨ 一次試験受験願書の申込み以降新たな資格を保有された方は、新しく取得した資格名等を、裏面の該当する箇所に記入してください。
- ⑩ 一次試験受験願書の申込み以降新たな判読経験を積まれた方は、新しく実施した判読に関連する情報を、裏面の該当する箇所に記入してください。

Ⅳ. 二次試験

一次試験の合格と異なる年に二次試験を受験される方は、以下の要領にしたがって写真票を作成してください。一次試験に合格したと同じ年に二次試験を受験される方は、一切不要です。

- ① 申請日前3ヶ月以内に撮影した、本人であることが明瞭に確認できる写真（無帽、正面、上三分身）を使用してください。
- ② 眼鏡使用の方は、着用時の写真。
- ③ 大きさは縦5cm×横4cm程度として、カラー、白黒は問いません。
- ④ 裏面に氏名を記入し、所定の位置に、剥がれないように貼付けてください。
- ⑤ 写真の下欄に、撮影月日を記入してください。
- ⑥ 氏名欄及び一次試験の受験番号欄は、受験申請書と同じ記載をしてください。

《注意事項》

- ・記載内容に誤りや虚偽があった場合、受験することができなかつたり不合格となつたりすることがあります。「自己チェック欄」を活用して、間違えのないことを確認してください。
- ・申請書には表面と裏面とがあります。
表面は必須項目です。必ず記入してください。裏面は、一次試験受験願書の記載と現在とで相違する事項があるときのみご記入ください。
- ・写真票は、一次試験の合格と異なる年に二次試験を受験される方のみが対象です。
- ・身体の不自由な方等で受験に際して特別な措置を希望される場合、申請時に文書で申請してください（文書の様式は問いません）。

作成した＜受験申請書／写真票＞は、後の確認用として、複写し保管することをお勧めします。

〔様式2〕 年 応用地形判読士資格検定試験（二次試験） 受験申請書		写 真 票																																						
私は、応用地形判読士資格検定試験（二次試験）を受験いたしたく、ここに申請いたします。 年 月 日 氏名 _____ 印 _____ 一般社団法人 全国地質調査業協会連合会 会長 殿 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">フリガナ</td> <td style="width: 35%;"></td> <td style="width: 10%;">性別</td> <td style="width: 10%;">生年月日(西暦)</td> <td style="width: 10%;">年齢</td> <td style="width: 10%;">申請日で</td> </tr> <tr> <td>氏 名</td> <td></td> <td>男 女</td> <td>年 月 日</td> <td>歳</td> <td></td> </tr> </table> 現 住 所 _____ 電話番号: _____ メールアドレス: _____ <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">一次試験合格年(西暦)</td> <td style="width: 33%;">一次試験の受験地</td> <td style="width: 33%;">一次試験の受験番号</td> </tr> <tr> <td>年</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 振込手続日 _____ 月 _____ 日 受験料振込(二次試験) 振込依頼人名 _____ (受験者名と異なる場合に、記入してください。) 振込名を主として振込人が組合、該当する受験者名と人数を次に記入してください。 (受験者名: _____ 名) (注) ・一次試験に合格したと同年に二次試験を受験される方は、＜写真票＞の記入及び写真の貼付けは不要です。 ・過去の一次試験に合格し今回二次試験を受験される方は、＜写真票＞の記入及び注記にしたがった写真の貼付けをお願いします。 ・一次試験受験願書の記載と現在とで相違する事項があるときは、裏面の該当する欄にご記入ください。		フリガナ		性別	生年月日(西暦)	年齢	申請日で	氏 名		男 女	年 月 日	歳		一次試験合格年(西暦)	一次試験の受験地	一次試験の受験番号	年			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align: center;">※ 確 認 欄</td></tr> <tr><td colspan="2" style="text-align: center;">二 次 試 験</td></tr> <tr><td style="width: 50%;">午 前</td><td style="width: 50%;">午 後</td></tr> </table> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">一次試験の受験番号</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>フリガナ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>氏 名</td> <td></td> </tr> </table>  撮影日: _____ 年 _____ 月 _____ 日 (注) ・申請前3ヶ月以内に撮影した、無帽、正面、上三分身の写真を使用してください。 ・カラー、白黒は問いません。 ・眼鏡使用の方は、着用時の写真。 ・裏面に氏名を記入して、貼り付けてください。 ※ 写真票は、過去の一次試験に合格し、今回二次試験受験申請される方のみ。 </td> </tr> </table>		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align: center;">※ 確 認 欄</td></tr> <tr><td colspan="2" style="text-align: center;">二 次 試 験</td></tr> <tr><td style="width: 50%;">午 前</td><td style="width: 50%;">午 後</td></tr> </table>	※ 確 認 欄		二 次 試 験		午 前	午 後	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">一次試験の受験番号</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>フリガナ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>氏 名</td> <td></td> </tr> </table>  撮影日: _____ 年 _____ 月 _____ 日 (注) ・申請前3ヶ月以内に撮影した、無帽、正面、上三分身の写真を使用してください。 ・カラー、白黒は問いません。 ・眼鏡使用の方は、着用時の写真。 ・裏面に氏名を記入して、貼り付けてください。 ※ 写真票は、過去の一次試験に合格し、今回二次試験受験申請される方のみ。	一次試験の受験番号		フリガナ		氏 名						
フリガナ		性別	生年月日(西暦)	年齢	申請日で																																			
氏 名		男 女	年 月 日	歳																																				
一次試験合格年(西暦)	一次試験の受験地	一次試験の受験番号																																						
年																																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align: center;">※ 確 認 欄</td></tr> <tr><td colspan="2" style="text-align: center;">二 次 試 験</td></tr> <tr><td style="width: 50%;">午 前</td><td style="width: 50%;">午 後</td></tr> </table>	※ 確 認 欄		二 次 試 験		午 前	午 後	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">一次試験の受験番号</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>フリガナ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>氏 名</td> <td></td> </tr> </table>  撮影日: _____ 年 _____ 月 _____ 日 (注) ・申請前3ヶ月以内に撮影した、無帽、正面、上三分身の写真を使用してください。 ・カラー、白黒は問いません。 ・眼鏡使用の方は、着用時の写真。 ・裏面に氏名を記入して、貼り付けてください。 ※ 写真票は、過去の一次試験に合格し、今回二次試験受験申請される方のみ。	一次試験の受験番号		フリガナ		氏 名																												
※ 確 認 欄																																								
二 次 試 験																																								
午 前	午 後																																							
一次試験の受験番号																																								
フリガナ																																								
氏 名																																								
◎ 一次試験受験願書の記載と現在とで相違する事項があるときは、下の該当する欄にご記入ください。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">新 しい 所 属 機 関</td> <td colspan="3">名称: _____</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3">住所: 〒 _____</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">所 属 する 会 社、 研 究 機 関 等</td> <td>電話番号:</td> <td colspan="2">ファックス番号:</td> </tr> <tr> <td colspan="3">変更の日付: _____ 年 _____ 月 _____ 日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">追 加 する 保 有 資 格</td> <td>資 格 名</td> <td>登 録 番 号</td> <td>取得年月(西暦)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>年 月</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">追 加 する 判 読 経 験</td> <td>期 間</td> <td>判 読 の 概 要</td> <td>所 属 機 関</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 上記のとおり、相違ありません。 年 月 日 申請者氏名 _____ 印 _____		新 しい 所 属 機 関	名称: _____				住所: 〒 _____			所 属 する 会 社、 研 究 機 関 等	電話番号:	ファックス番号:		変更の日付: _____ 年 _____ 月 _____ 日			追 加 する 保 有 資 格	資 格 名	登 録 番 号	取得年月(西暦)			年 月	追 加 する 判 読 経 験	期 間	判 読 の 概 要	所 属 機 関				<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">＜写真票＞（必要なとき）</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">氏 名 (フリガナ)</td> <td style="width: 50%;">写 真</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">撮影日 貼付け</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>		＜写真票＞（必要なとき）		氏 名 (フリガナ)	写 真		撮影日 貼付け		
新 しい 所 属 機 関	名称: _____																																							
	住所: 〒 _____																																							
所 属 する 会 社、 研 究 機 関 等	電話番号:	ファックス番号:																																						
	変更の日付: _____ 年 _____ 月 _____ 日																																							
追 加 する 保 有 資 格	資 格 名	登 録 番 号	取得年月(西暦)																																					
			年 月																																					
追 加 する 判 読 経 験	期 間	判 読 の 概 要	所 属 機 関																																					
＜写真票＞（必要なとき）																																								
氏 名 (フリガナ)	写 真																																							
	撮影日 貼付け																																							

受験申請書／写真票（表）

受験申請書（裏）

3) 受験の申込み

＜受験申請書／写真票＞を作成し、全地連事務局宛に郵送してください。

受付け期間：2012年9月10日～同年10月15日

応用地形判読士補に未登録の方は、受験申請書と登録申請書を同時に提出することができます。

《注意事項》

- ・申請後は、提出書類の返却はいたしません。
- ・受付けは郵送のみとします。ファックス、電子メールまたは持参による申込みはできません。
- ・受付け期間中の消印が有効です。期限を過ぎた消印の書類は、受理できません。
- ・申請以降に現住所や氏名が変更になった時は、全地連事務局へ必ずご連絡ください。

4) 受験手数料の振込み

受験手数料は21,000円（税込）です。

受付け期間内に、Ⅲ. 3. 4) 登録手数料の振込み（13ページ）に基づき、お振込みください。

なお、振込用紙の依頼人欄には、次を参考に、受験番号とお名前を記入してください。

依頼人欄の記入例：

受験番号 9012345 の場合 → 9012345 全地連太郎（9012345 ゼンチレントロウ）

《注意事項》

- ・申請後の受験手数料の返還はいたしません。
- ・振込みに要する送金手数料については、受験者でご負担ください。
- ・受験手数料は、現金書留、定額小為替、普通為替等では納入できません。
- ・インターネットバンクを利用し納入される方は、取引画面のプリントを受験申請書に同封してください。
- ・全地連は、受験手数料振込みの領収書は発行いたしません。

5. 受験票の送付

1) 送付の時期

10月下旬（試験日のおよそ1ヶ月前）とします。

《注意事項》

- ・11月中旬になっても受験票が届かないときは、全地連事務局にお問い合わせください。

2) 送付の方法

受験票は、葉書でお送りします。

受験票に記載してある一次試験の受験番号と氏名をご確認ください。

《注意事項》

- ・記載に間違いがあるときは、全地連事務局にお申付けください。ただちに受験者データを修正して、再発行いたします。
- ・受験票は、試験当日必ず持参してください。
- ・受験票は、試験後に合否通知が送付されるまで、大切に保管してください。

6. 受験

1) 試験日時

試験日時：2012 年 12 月 1 日（土） 10 時 00 分 ～ 15 時 00 分

午前の部：10 時 00 分～12 時 00 分（平地の判読及び地形発達史の推論）

午後の部：13 時 00 分～15 時 00 分（山地の判読及び地形発達史の推論）

2) 受験地

全国建設研修センター（URL <http://www.jctc.jp/>）

住所：東京都小平市喜平町 2-1-2 TEL (042) 324-5315



- 西武多摩湖線「一橋学園駅」南口より 徒歩約 8 分
- ・ JR 中央線 国分寺駅乗換え 乗車時間 約 3 分
 - ・ 西武拝島線 萩山駅乗換え 乗車時間 約 4 分

《注意事項》

- ・ 試験会場の手前に、国土交通大学校の正門があります。間違えないでください。

☆ 参考

全国建設研修センターには、宿泊施設が併設されています。

利用条件の概要は、次のとおりです。

- ・ 一人一泊 2,900 円（素泊り）。
 - ・ 2～4 名の相部屋となります。
 - ・ トイレと風呂は共用です。
 - ・ 寝間着、洗面道具などご持参ください。
 - ・ 女性専用のエリアが設定されています。
 - ・ 食事は用意できません。周辺の食堂かコンビニエンスストアをご利用ください。
- 利用を希望される方は、11 月 5 日（月）までに、全地連事務局へご連絡ください。

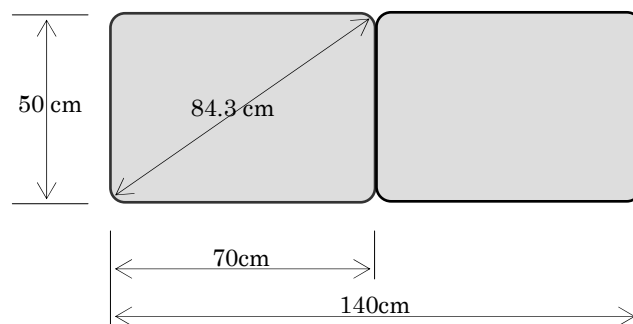
3) 受験にあたって

- ・試験会場へは、試験開始の 20 分前までに到着し、受付けを済ませてください。
遅刻された方には、受験をお断りする場合があります。受験していただく場合でも、終了時刻の延長はありません。
- ・席は受験番号で指定してあります。指定された席で受験してください。
- ・受験票は必ず持参し、会場担当者の指示にしたがって提示してください。また、試験中は、机の見えやすい位置に置いてください。
- ・次の文房具等をご用意いただき、試験会場へご持参ください。

鉛筆またはシャープペンシル（黒色で HB 程度の硬さ）／プラスチック製消しゴム／定規／三角スケール／色鉛筆／軟質色鉛筆（ダーマトグラフなど）／カラーマーカー／計算機（プログラム機能の付いていないもの）。

試験に使用できる文房具等については、試験開始前に、試験監督が指定いたします。

- ・空中写真の判読に使用する実体鏡は、事前に試験会場へ送っていただくことも可能です。その際、発送伝票の備考欄に“応用地形判読士試験（12 月 1 日）”と明記してください。当日は、受付け後に実体鏡を受取ってください。
 - ・実体鏡は、試験開始前にセットし、状態を確認してください。
- なお、試験には机を 2 基使用します。サイズは、次のとおりです。



- ・文房具、実体鏡等の貸し出しはいたしません。
- ・携帯電話やアラーム音が出る機器は、入室前に必ず設定を解除し電源を切ってください。
- ・試験会場では、係員や試験監督の指示にしたがってください。
- ・不正行為（試験の進行を妨害する行為、他の受験者の迷惑となる行為、試験の公平性を損なう行為等）または試験監督の指示にしたがわないときは、即刻退場を命じます。
この場合、すべての科目について採点から除外し、不合格とします。
- ・問題用紙の持ち帰りは、禁止とします。
- ・昼食や飲み物は、各自で調達してください。また、会場管理者からの指定があるときは、それにしてください。

7. 受験後

1) 合格発表と合格基準

合格発表日：2013年2月25日（予定）

合格通知：受験者全員に「合否通知」を郵送します。《発表日の2日後前後に到着》

合格者名簿（受験番号）を、全地連ホームページに掲載します。《発表当日の朝》

合格者名簿（受験番号）は、3月発行の全地連機関誌『地質と調査』に掲載します。

合格基準：出題科目ごとに50%以上正答し かつ、全科目の総得点が満点の60%以上.

その他：合格者には、「応用地形判読士合格証」を郵送します。

また、＜応用地形判読士登録申請書（様式・4）＞を同封します。

《注意事項》

- ・3月中旬になっても合否通知が届かないときは、全地連事務局にお問い合わせください。

2) 登録

二次試験の合格者は、2013年3月31日までに登録申請手続きを行うことで、応用地形判読士に登録されます。

登録は任意ですが、応用地形判読士の名称を用いて地形判読を行うためには登録が必要です。

詳細は、V. 登録〔応用地形判読士〕（23 ～ 25 ページ）をご覧ください。

V. 登録（応用地形判読士）

1. 概要

二次試験の合格者が応用地形判読士となるには、所定の期間内に登録の申請をして、登録を受ける必要があります。

2. 資格

応用地形判読士は、“応用地形判読士”の名称を用いて地形判読を行うことができます。

3. 登録の手続き

1) 必要書類の入手

登録に必要な書類は、合格証とともにお送りします。

お手元がない場合は、全地連のホームページからダウンロードしてください。無料です。

2) 書類の作成

申請時に提出する書類は、＜応用地形判読士登録申請書（様式-4）＞のみです。

申請書は、以下の要領にしたがって作成してください。

- ① 記入はすべて黒インクのボールペンを使って、丁寧な字ではっきりと記入してください。
- ② 申請日、生年月日その他は、西暦で記入してください。
- ③ 氏名には、略称や雅号などを用いないでください。
- ④ 年齢は、申請日で記入してください。
- ⑤ 現住所欄は、居住地の住所等を記入してください。
- ⑥ 所属機関には、研究機関や学校などを含みます。勤務先（自営の場合は自営として）及び所属部課名、またはこれに相当する事項を記入してください。また、申請時点で無職の方は、「なし」と記入してください。
- ⑦ 合格情報欄には、受験番号と合格証の発行年月日を記入してください。
- ⑧ 登録料振込欄は、登録料を振込んだ月日を記入してください。
振込み手続き方法は、Ⅲ. 3. 4) 登録手数料の振込み（13 ページ）にある要領にしたがい実施して、必要なときは振込依頼人名等を記入してください。
- ⑨ 資格者情報欄は、次の2つを対象としています。

登録内容：受験申請書に記載した以降、氏名、現住所、自宅電話番号、メールアドレス、所属機関のいずれかが変更になった方は、該当する項目の先頭に○印をつけてください。最新のデータに基づき、登録します。

資格者情報の公開：ご了解いただいた方の、①登録番号、②氏名、③所属、④資格有効期限を、全地連のホームページに公開いたします。

ご了解いただけたときは「公開を希望します」、ご了解いただけないときは「公開しないでください」のいずれかの先頭に○印をつけてください。

3) 登録の申込み

＜応用地形判読士登録申請書＞を作成し、全地連事務局宛に郵送してください。

受付期間：2013年2月26日（予定）～ 同年3月31日

この期間内に登録を申請されない場合、二次試験の合格が取消され応用地形判読士となる権利を喪失します。

《注意事項》

- ・ 申請後は、提出書類の返却はいたしません。
- ・ 受付けは郵送のみとします。ファックス、電子メールまたは持参による申込みはできません。
- ・ 受付期間中の消印が有効です。期限を過ぎた消印の書類は、受理できません。

4) 登録手数料の振込み

登録手数料は 8,400 円（税込）です。

受付期間内に、Ⅲ. 3. 4) 登録手数料の振込み（13 ページ）に基づき、お振込みください。

なお、振込用紙の依頼人欄には、次を参考に、受験番号とお名前を記入してください。

依頼人欄の記入例：

受験番号 9753100 の場合 → 9753100 全地連太郎（9753100 ゼンチレントロウ）

《注意事項》

- ・ 申請後の登録手数料の返還はいたしません。
- ・ 振込みに要する送金手数料については、登録者でご負担ください。
- ・ 登録手数料は、現金書留、定額小為替、普通為替等では納入できません。
- ・ インターネットバンクを利用し納入される方は、取引画面のプリントを登録申請書に同封してください。
- ・ 全地連は、登録手数料振込みの領収書は発行いたしません。

4. 登録

1) 登録

申請に基づき、「応用地形判読士登録証」を4月中旬に交付します。同時に、全地連事務局が《応用地形判読士登録簿》に登録します。

応用地形判読士登録証の有効期間は5年間です。

応用地形判読士登録簿は、登録証と同じ期間管理します。

《注意事項》

- ・4月下旬になっても「応用地形判読士登録証」が届かないときは、全地連事務局にお問い合わせください。

2) 登録事項の変更

登録後に現住所、氏名、所属機関が変更になった時には、「変更届」が必要です。全地連事務局へ、必ずご連絡ください。変更手数料は不要です。

また、変更に伴い、あるいは何らかの事由で登録証の再発行が必要なときは、全地連事務局へご連絡ください。有償で再発行いたします。

3) 登録の取消し

応用地形判読士が次のいずれかに該当すると認められたときは、資格を剥奪し登録を抹消します（応用地形判読士資格検定試験規程 第18条）。

- ・応用地形判読士が虚偽または不正の事実に基づいて登録を受けた場合、
- ・応用地形判読士の信用を傷つけまたは全地連等の不名誉となるような行為をした場合、

この措置を受けた方は、今後、応用地形判読士資格検定試験を受験することはできません。

4) 登録更新

応用地形判読士登録証の更新には、5年間で継続教育125単位（CPDH単位）の取得が必要です。

早い時期に VI. 登録更新（26～31 ページ）をご確認いただき、今後取得する CPD の計画や学習記録の整理にお役立てください。

VI. 登録更新【対象登録年月日：2013 年 4 月 1 日】

1. 概要

応用地形判読士の資格を継続するためには、有効期間の 5 年ごとに登録更新の申請をして、登録更新を受ける必要があります。

2. 登録更新の要件

登録の更新には、次に示す継続教育を実施して、5 年間に継続教育 125 単位（CPDH 単位）を取得する必要があります。125 単位のうち、50 単位以上は地形判読に関する内容としてください。

項目	内 容	CPD 単位の考え方／単位の年間限度
外部講習会 社内研修 自己学習	地形及び地形判読に関連する講習会／ 地質及び地質調査に関連する講習会／ 社内研修会 などの受講 Web ラーニング などの自己学習	CPD 単位が指定された講習会等は、 指定単位を報告する。 CPD 単位が定められていない項目 は、「土質・地質技術者生涯教育協議 会」等の指標に準じて報告する。 ※ 報告単位数の年間限度：なし
普及活動	地形判読及びこれに関連する地質調査 の委員会の委員または講習会の講師 などの普及活動	※ 報告単位数の年間限度：なし
実務経験	地形判読業務及びこれに関連する地質 調査業務などの実務経験	地形判読の実務経験：1 業務 5 単位 地質調査の実務経験：1 業務 2 単位 ※ 報告単位数の年間限度：10 単位

CPD 単位の算出方法については、次ページに示す土質・地質技術者生涯学習協議会または公益社団法人日本技術士会の指針に準じるものとします。

技術士 CPD： http://www.engineer.or.jp/c_categories/index05036.html

《注意事項》

- ・ 応用地形判読士が、定められた期間内に登録更新の申請をしない場合、または、登録更新の要件を満たしていない場合は、有効期限をもって応用地形判読士の資格を喪失します。

土質・地質技術者生涯教育協議会における CPD の基本単位

教育形態	番号	プログラム内容	CPD の 基本単位 (CPD/単位)	CPD 計算例	
				仮定値	CPD
i. 講習会・研 修会等への 参加	i1	講習会、研修会等への参加	1/ 時間	4 時間出席	4
	i2	講演会、シンポジウム等への参加			
	i3	各種委員会への参加			
	i4	地学巡検、現場見学会等への参加(報告義務のあるもの)	10/ 日	2 日間出席	20
ii. 論文等の発 表	ii1	口頭発表(協議会が認める学協会等での発表)	0.4/ 分	15 分発表	6
	ii2	口頭発表(前記以外での発表)	0.2/ 分	15 分発表	3
	ii3	論文発表(学術雑誌等への査読付き論文発表)	40/ 編	1 編執筆	40
	ii4	論文発表(学術雑誌等への査読付き論文発表)(共著)	20/ 編	1 編執筆	20
	ii5	論文発表(一般論文、総説等)	10/ 編	1 編執筆	10
	ii6	論文発表(一般論文、総説等)(共著)	5/ 編	1 編執筆	5
	ii7	地質技術者に役立つ技術図書等(標準類含)の執筆	1/ 頁	6 頁執筆	6
iii. 企業内研修 及び OJT	iii1	企業内研修および OJT	1/時間	3 時間出席	3
	iii2	大学、研究機関(企業を含む)における研究開発・技術業務への参加			
iv. 技術指導	iv1	講習会等の講師	3/時間	2 時間出席	6
	iv2	社内研修会等の講師	2/時間	2 時間出席	4
	iv3	論文等の査読(学協会等から依頼のあるもの)	20/ 編	3 編査読	60
v. 業務経験	v1	学協会や発注者の表彰を受けた業務等	20/ 件	1 件表彰	20
	v2	所属長が優れた成果と認めたもの	10/ 件	1 件認定	10
	v3	特許取得(発明者に限る)	40/ 件	1 件認可	40
	v4	現場管理経験(主任技術者、現場管理人、掘削機長、物理探査班長等)	5/ 件	2 件	10
	v5	現場経験(一般調査員)	2/ 件	5 件	10
vi. その他	vi1	技術委員会等への出席(議長・委員長の場合)	2/時間	2 時間出席	4
	vi2	技術委員会等への出席(委員・幹事の場合)	1/時間	2 時間出席	2
	vi3	自己学習(学会誌購読等)、「地質と調査」の購読	0.5/時間	2 時間実施	1
	vi4	技術資格の取得	20/取得	1 種類取得	20
	vi5	災害調査、研究調査等への参加	20/箇所	1 カ所参加	20
	vi6	国際機関への技術協力(議長・委員長)	20/会議	1 会議出席	20
	vi7	国際機関への技術協力(委員・幹事の場合)	10/会議	1 会議出席	10
	vi8	地域活動への参加	20/箇所	1 カ所参加	20
	vi9	エコツアー、ジオツアーへの参加(報告義務のないもの)	5/ 日	2 日間出席	10
	vi20	上記以外で協議会が CPD と認めるもの	他に照らして適宜判断する		

※ 応用地形判読士では、次の番号及びプログラム内容を以下のように読替えるものとして、年間の上限を合計 10 単位とする。

v4 : 地形判読を伴う地質調査業務	CPD の基本単位 : 5/件	} 合計 10 単位
v5 : 地形判読を伴わない地質調査業務	CPD の基本単位 : 2/件	

3. 登録更新の手続き

1) 必要書類の入手

登録更新に必要な書類は、全地連のホームページからダウンロードしてください。無料です。

2) 書類の作成

申請時に提出する書類は、＜応用地形判読士登録更新申請書（様式-5）＞と継続教育の裏付けになる“CPD 記録簿等（名称及び様式は問いません）”の2点です。

申請書は、以下の要領にしたがって作成してください。

- ① 記入はすべて黒インクのボールペンを使って、丁寧な字ではっきりと記入してください。
- ② 申請日、生年月日その他は、西暦で記入してください。
- ③ 氏名には、略称や雅号などを用いないでください。
- ④ 年齢は、申請日で記入してください。
- ⑤ 現住所欄は、居住地の住所等を記入してください。
- ⑥ 所属機関には、研究機関や学校などを含みます。勤務先（自営の場合は自営として）及び所属部課名、またはこれに相当する事項を記入してください。また、申請時点で無職の方は、「なし」と記入してください。
- ⑦ 登録情報欄には、登録番号と登録年月日及び有効期限を記入してください。
- ⑧ 継続教育の記録欄には、登録されている CPD 管理団体名と、対象期間内に取得した CPD 単位数を記入してください。

また、取得単位の裏付けになる“CPD 記録簿等（名称及び様式は問いません）”を、必ず添付してください。

- ⑧ 更新料振込欄は、登録更新料を振込んだ月日を記入してください。

振込み手続き方法は、Ⅲ. 3. 4) 登録手数料の振込み（13 ページ）にある要領にしたがい実施して、必要なときは振込依頼人名等を記入してください。

- ⑨ 資格者情報欄は、次の2つを対象としています。

登録内容の変更：前回登録もしくは変更届の提出以降、氏名、現住所、自宅電話番号、メールアドレス、所属機関のいずれかが変更になった方は、該当する項目の先頭に○印をつけてください。最新のデータに基づき、登録を更新します。

資格者情報の公開：ご了解いただいた方の、①登録番号、②氏名、③所属、④資格有効期限を、全地連のホームページに公開いたします。

ご了解いただけたときは「公開を希望します」、ご了解いただけないときは「公開しないでください」のいずれかの先頭に○印をつけてください。

CPD の取得期間：2013 年 4 月 1 日 ～ 登録更新申請の日

CPD 記録簿等には、CPD ごとに以下の 14 項目を記載してください。

① 番号：時系列に整理した CPD 記録に、1 番からの通し番号をつけてください。	
② 主催者名：CPD の内容に応じて、次を参考に記入してください。 講習会等の受講または講習会等の講師 → 行事を主催した機関名 社内研修会等への参加または社内研修会等の講師 → 企業名（例：当社 ○○(株)） 論文等の発表 → 行事を主催または企画した機関名 技術書の購読等 → 自己学習 委員等への出席 → 委員会を主催した機関名 業務経験 → 発注者名（下請負人で受注した場合は 元請負人も併記）	
③ プログラム名：CPD の内容に応じて、次を参考に記入してください。 講習会等の受講または講習会等の講師 → 講習会等の名称 社内研修会等への参加または社内研修会等の講師 → 研修会等の名称またはテーマ 論文等の発表 → 発表場所（発表会または書籍等の名称）及び論文等のタイトル 技術書の購読など → 学習等の目的またはテーマ 委員会等への出席 → 委員会名等 業務経験 → 業務名称	
④ プログラム番号：講習会等の主催者が整理番号等を割当てている場合は、その番号をご記入ください。	
⑤ 教育分野：	登録団体により異なります。任意でご利用ください。
⑥ 教育形態：	
⑦ 開始年月日：	CPD の実施期間について、開始年月日または終了年月日を、西暦で記入してください。資格取得により CPD を取得した場合は、資格取得日を両方に記入してください。
⑧ 終了年月日：	
⑨ 参加単位：	取得した CPD 単位と、その算出根拠となる数量、単位及び CPD 単位を記入していただきます。算出根拠となる数量を⑨、単位を⑩、取得した CPD 単位を⑪に記入してください。 ・記入例：自己学習を 3 時間実施し CPD 単位を 1.5 取得した場合 → ⑨参加単位=3 ⑩単位=時間 ⑪CPD 単位=1.5 ・⑪CPD 単位に小数点以下が生じるときは、0.5 単位刻みで記入してください。 ・主催者が設定した CPD 単位がある時はその単位を⑪に記入し、目安として⑨及び⑩も記入してください。
⑩ 単位：	
⑪ CPD 単位：	
⑫ 主催者証明：CPD 取得証明書に相当する書類がお手元にある場合は、“○”を記入してください。書類がない場合は“－”としてください。 ※ 取得証明書の有無が更新の可否に影響することはありません。ただし、取得の証拠として、書類の提出を求めることがあります。	
⑬ 認定機関名：⑫と関連して、CPD を付与した機関名を記入してください。 申請者本人が CPD を算出した場合は「本人」、勤務の場合は「勤務先」と記入してください。	
⑭ プログラム内容：登録更新の対象となる CPD であるかを判断する重要な項目です。取得された CPD の内容について、客観的に分かりやすく書いてください。	

《注意事項》

- ・下線を付した②と③及び⑦～⑭は、必須項目です。必ずご記入ください。

3) 登録更新の申込み

＜応用地形判読士登録更新申請書＞を作成し、取得単位の裏付けになる資料を添付して、全地連事務局宛に郵送してください。

受付け期間（予定）：2017年12月1日～2018年1月15日

この期間内に登録更新を申請されない場合、登録証に記載している有効期限をもって、応用地形判読士の資格を喪失します。

また、登録更新に必要な継続教育の単位数に満たないときも、同様とします。

《注意事項》

- ・申請後は、提出書類の返却はいたしません。
- ・受付けは郵送のみとします。ファックス、電子メールまたは持参による申請はできません。
- ・受付け期間中の消印が有効です。期限を過ぎた消印の書類は、受理できません。
- ・申請された CPD の内容について、更新の対象となるか否かの判断がつかない場合は、内容確認のためご連絡を入れさせていただきます。

なお、申請内容によっては、書類の再提出を求める場合があるほか、CPD 取得を証明できる資料（CPD 取得証明書、社内研修の資料、自主学習資料教材など）の提出を求めることがあります。

- ・また、申請された CPD は、内容により更新の対象外と判断することがあります。対象になるとお考えの CPD が 125 単位を超えて取得されている方は、申請の際、CPD 記録簿等に所要の単位数を超えて記入されることをお勧めします。

4) 登録更新手数料の振込み

登録更新手数料は 8,400 円（税込）です。

受付け期間内に、Ⅲ. 3. 4) 登録手数料の振込み（13 ページ）に基づき、お振込みください。

なお、振込用紙の依頼人欄には、次を参考に、登録番号とお名前を記入してください。

依頼人欄の記入例：

登録番号 12-012 の場合 → 12-012 全地連太郎（12-012 ゼンチレントロウ）

《注意事項》

- ・申請後の登録更新手数料の返還はいたしません。
- ・振込みに要する送金手数料については、登録更新者でご負担ください。
- ・登録更新手数料は、現金書留、定額小為替、普通為替等では納入できません。
- ・インターネットバンクを利用し納入される方は、取引画面のプリントを登録更新申請書に同封してください。
- ・全地連は、登録更新手数料振込みの領収書は発行いたしません。

4. 登録更新

1) 更新の登録

申請に基づき、新たな「応用地形判読士登録証」を、4月中旬に交付します、同時に、《応用地形判読士登録簿》を更新します。このとき、更新しても登録番号は変わりません。

《注意事項》

- ・4月下旬になっても「応用地形判読士登録証」が届かないときは、全地連事務局にお問い合わせください。
- ・新たな「応用地形判読士登録証」が届いたときは、有効期限の過ぎた登録証を廃棄してください。

2) 登録事項の変更

登録更新後に現住所、氏名、所属機関が変更になったときは、「変更届」が必要です。全地連事務局へ、必ずご連絡ください。変更手数料は不要です。

また、変更に伴い、あるいは何らかの事由で登録証の再発行が必要なときは、全地連事務局へご連絡ください。有償で再発行いたします。

お 願 い

本資格検定試験制度では、登録更新に『技術者の継続教育(CPD: Continuing Professional Development)』制度を採用し、更新に必要な単位数を設定しています。

しかし、CPD制度の細部は確立されておらず、時代の要請に応じて変化しつつあります。そのため、登録更新を受けられる5年後には、CPDの基本単位(26ページ)あるいはCPD記録簿等に記載していただく項目(28ページ)の変更などもあり得ます。

登録更新の要件を変更する際は、全地連ホームページに予告掲載いたします。あらかじめ全地連ホームページをご確認のうえ、登録更新に臨まれるよう、お願いいたします。

VII. その他

1. 個人情報の保護

この手引きにより申請された個人情報は、全地連「個人情報及び企業情報保護方針」に基づき取扱います。応用地形判読士資格検定試験及び登録に係る事務手続き以外の目的で利用することは、ありません。

2. 不可抗力による試験の中止

台風、地震その他の不可抗力により、試験を中止する場合があります。

3. e-learning について

参考資料として、次の情報を 5 月中旬以降、全地連のホームページに掲載する予定です。

○ e-learning

- ・一次試験 多肢択一式：模擬問題と正解
- ・一次試験 記述式：模擬問題と解答のキーワード

4. 参考図書

書 籍 名	著 者 編 者	発行者	備考*
建設技術者のための地形図読図入門 1～4	鈴木 隆介	古今書院	共通
技術者のための地形学入門	熊木 洋太 ほか	山海堂	共通
技術者のための空中写真判読	武田 裕幸・今村 遼平	共立出版	共通
地形分類図の読み方・作り方 改訂増補版	大矢 雅彦 ほか	古今書院	共通
日本の地形 1 総説	米倉 伸之 ほか	東京大学出版会	共通
土木技術者のための現地踏査	島 博保 ほか	鹿島出版会	共通
画でみる地形・地質の基礎知識	今村 遼平 ほか	鹿島出版会	共通
防災地形（第 2 版）	水谷 武司	古今書院	共通
写真と図でみる地形学	貝塚 爽平 ほか	東京大学出版会	共通
発達史地形学	貝塚 爽平	東京大学出版会	共通
地形変化の科学	松倉 公憲	朝倉書店	共通
地球のテクトニクス I 堆積学・変動地形学	箕浦 幸治 ほか	共立出版	共通
目でみる山地災害のための微地形判読	大石 道夫	鹿島出版会	共通
空中写真による地すべり調査の実際	日本測量技術協会	鹿島出版会	共通
建設技術者のための 土砂災害の地形判読実例問題（中・上級編）	井上 公夫	古今書院	共通
山地の地形工学	日本応用地質学会	古今書院	二次
地すべり地形の判読法	大八木 規男	近未来社	二次
活断層地形判読	渡辺 満久・鈴木 康弘	古今書院	二次

注）上記の参考図書は、出題とは関係ありません。

備考欄の“共通”は一次試験と二次試験に共通した、“二次”は二次試験の参考図書です。

5. CPD の自己管理

全地連では、関連する学協会などと連携した『土質・地質技術者生涯学習協議会』を組織し、土質・地質技術者の継続教育を支援するための生涯学習ネット<ジオ・スクーリングネット>を運営しています。

このサイトでは、利用者登録を行うことにより、i) 講習会の紹介、ii) 講習会の受講申請、iii) 受講証明書の発行、iv) 学習記録の登録と管理ができます。このサイトの利用は、無料です。

ここで登録した CPD 記録は、応用地形判読士の登録更新に必要な項目（29 ページ）を網羅しています。既にジオ・スクーリングネットをご活用の方は、こちらを利用されると便利です。

詳しくは、次のホームページをご覧ください。

ジオ・スクーリングネットのホームページ https://www.geo-schooling.jp/

以 上

<参考>

◇ 応用地形マスター I 級／応用地形判読士補

一次試験に合格した年度	応用地形判読士補への登録申請 および／または 二次試験受験の期限
2012 年度	2016 年 10 月中旬*

注) 10 月中旬*は、当該年度二次試験の受験申請書の受付け期限を意味します。

◇ 応用地形判読士

応用地形判読士登録証の有効期限	登録更新の受付け期間（予定）
2018 年 3 月 31 日	2017 年 12 月 1 日～2018 年 1 月 15 日

注) 登録更新の受付け期間及び方法の詳細は、該当する年度の 11 月頃、全地連ホームページでご確認ください。

2012 年度（平成 24 年度） 第 1 回 応用地形判読士資格検定試験
受験から登録までの手引き

<お問い合わせ／お申込み先>

一般社団法人全国地質調査業協会連合会 事務局 応用地形判読士係

〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-5-13 内神田 TK ビル 3 階

Tel. (03) 3518-8873 Fax. (03) 3518-8876

<http://www.zenchiren.or.jp/>